

4 第5号線（千日前線）の延伸〔南巽～弥刀方面〕

(1) 路線の概要

第5号線の延伸（南巽～弥刀方面）の概要を、以下のとおりに示す。

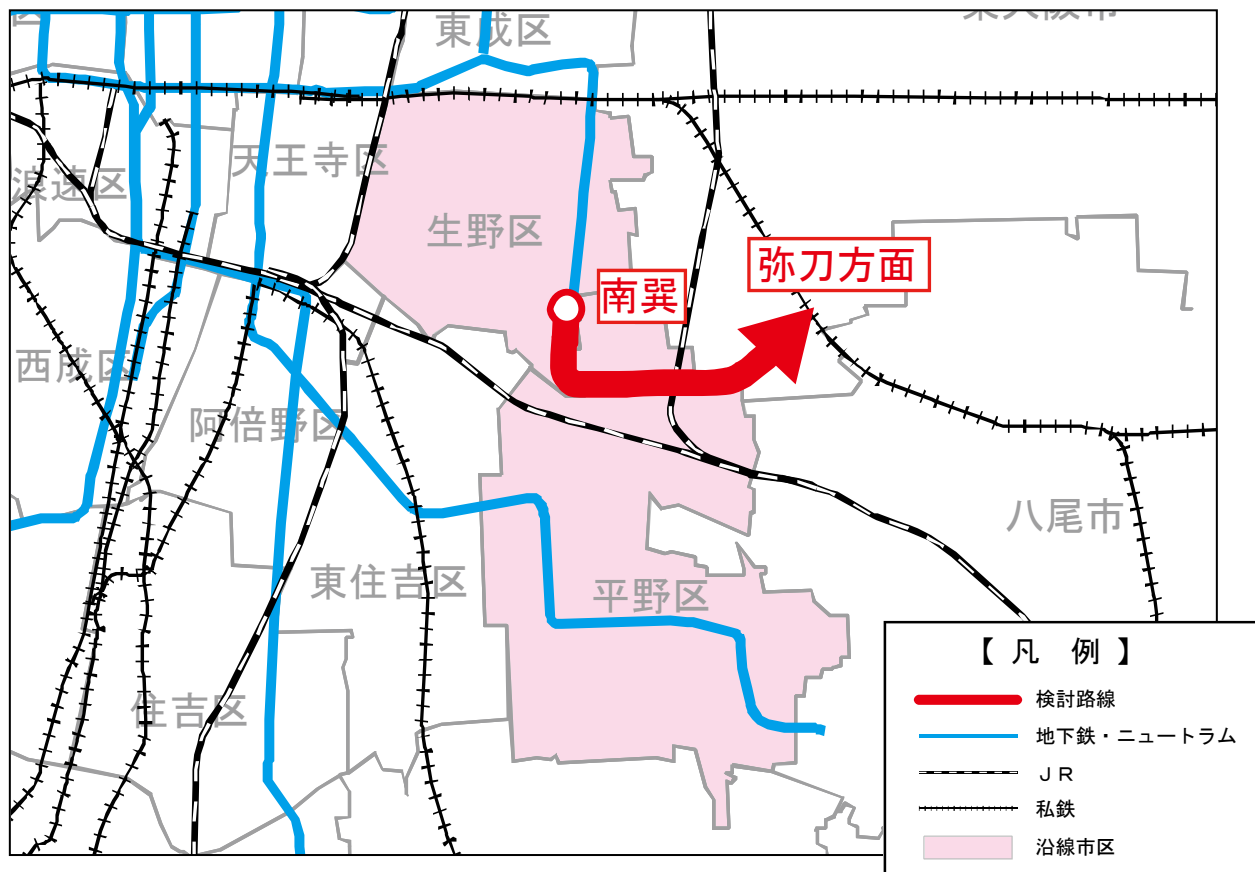


図 4-1 第5号線延伸区間の路線図

表 4-1 第5号線の延伸の概要

諸元	区間	南巽～弥刀方面
	延長	建設区間：4.2km 営業区間：4.2km
	車両	普通地下鉄
	車両編成	4両
	運転	ワンマン運転予定（現在はツーマン運転）
	運転間隔	運転間隔 朝ラッシュ：4分5秒～4分10秒、夕ラッシュ：4分45秒 昼間7分 ※千日前線の既設区間と同程度と想定
	工法	全線地下式
	車庫	新設（久宝寺緑地の地下を想定）

表 4-2 第5号線の延伸の概要(続き)

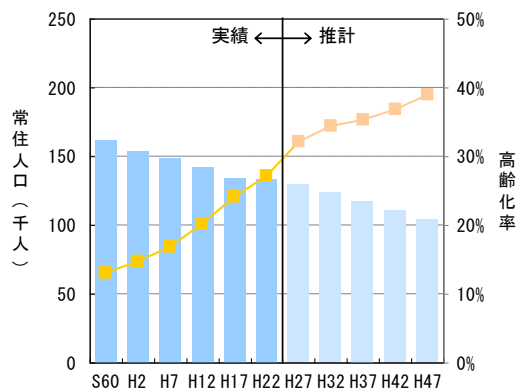
経緯		昭和 57 年の「大阪を中心とする鉄道網整備網構想について」において、構想路線に位置づけ。 平成元年に「大阪市交通事業の設置等に関する条例」に位置づけ。
国の答申 における 位置づけ	運輸政策審 議会答申第 10号 (平成元年5月)	今後整備について検討すべき路線(ランクC) ・東大阪地域の整備状況、当該開発に伴う新規需要の規模、近鉄大阪線の輸送の動向等を総合的に勘案して、路線整備の必要性について検討。
	近畿地方交 通審議会答 申第8号 (平成16年10月)	(検討対象路線として審議) 答申されず
市会での主な議論 (新たな提案に関する こと)		・内環状線から国道25号線を東へ行く路線 ・JR平野を通り地下鉄平野へ接続
沿線の状 況	道路幅員	(現道なし)
	沿線2区の合計(平成22年)	
	常住人口	約33.4(万人)
	就業人口	約13.6(万人)
	従業人口	約12.5(万人)
	沿線から500mにかかる町丁の合計(平成22年)※従業人口のみ平成21年	
	常住人口	約8.2(万人)
	高齢化率	約24.9(%)
	人口密度	約11.0(千人/km ²)
従業人口	約4.3(万人)	

(2) 沿線区の概況

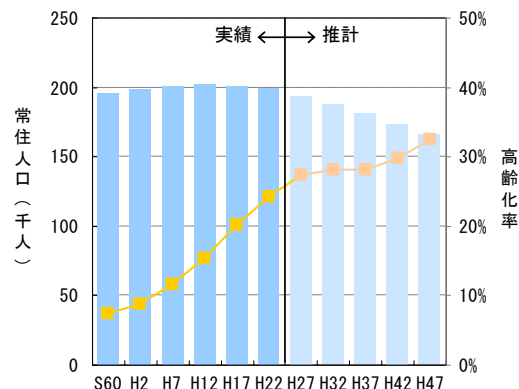
① 常住人口の推移

生野区では、常住人口は昭和60年以降減少傾向にあり、高齢化率は大阪市を大きく上回り、高齢化が急速に進んでいる。

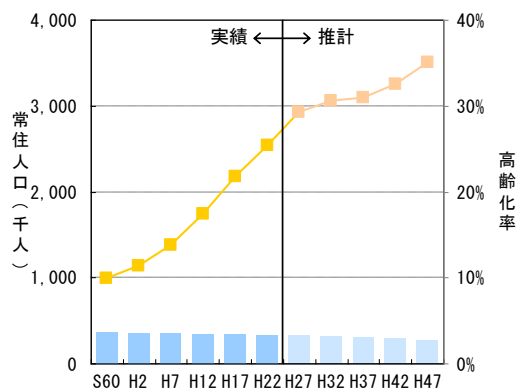
<生野区>



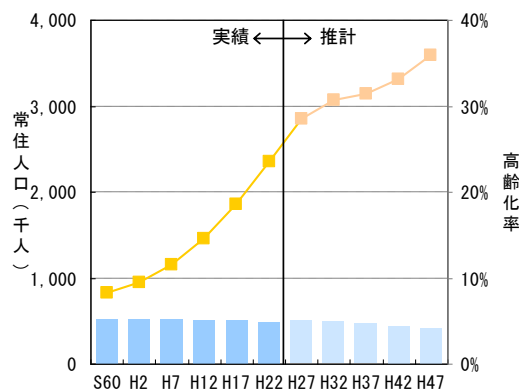
<平野区>



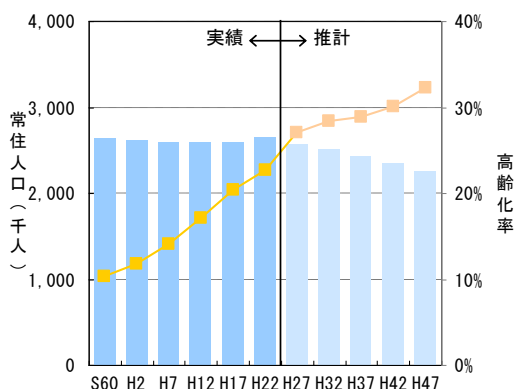
<<2区計>>



<<東大阪市>>



<<大阪市>>



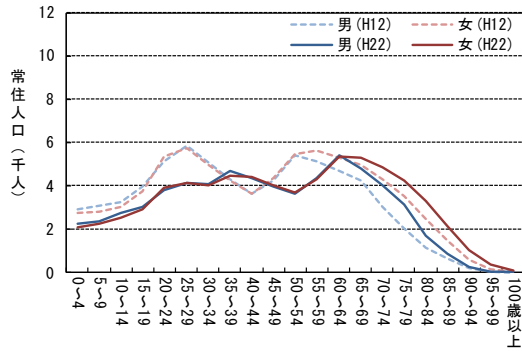
■ 常住人口 ■ 高齢化率

資料：(実績)国勢調査、(推計)国立社会保障・人口問題研究所資料
 図 4-2 常住人口及び高齢化率の推移

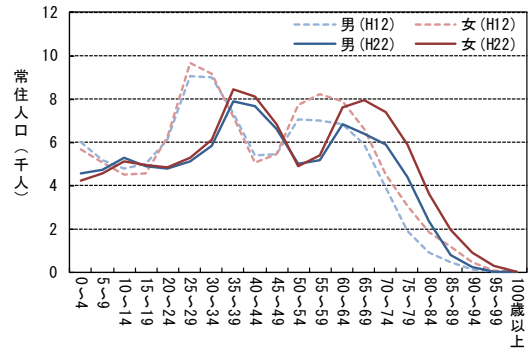
② 人口分布

生野区、平野区とも、平成 12 年の 25～29 歳及び 50～54 歳の 2 つのピークが、平成 22 年に 35～39 歳及び 60～64 歳へ移行している。また、平成 22 年の生産年齢人口は、平成 12 年より減少している。

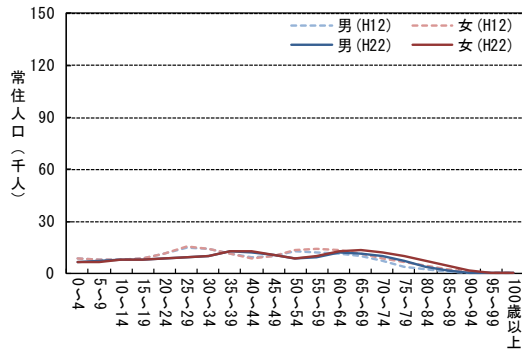
＜生野区＞



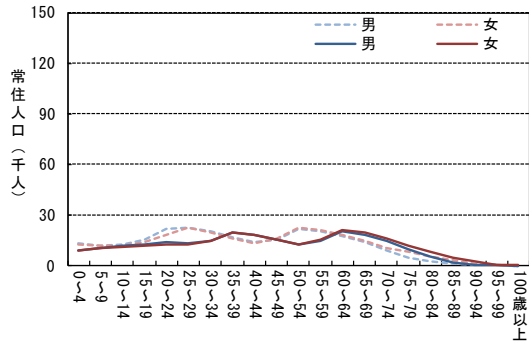
＜平野区＞



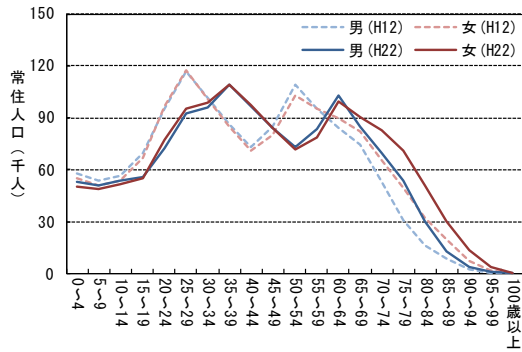
《2区計》



《東大阪市》



《大阪市》



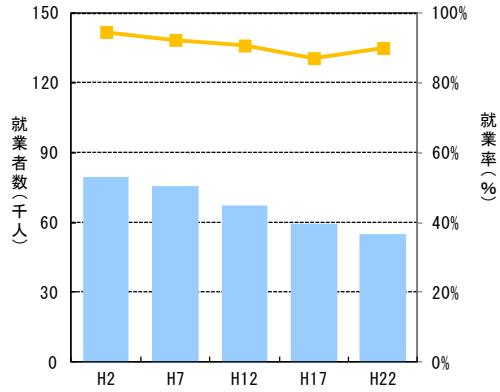
資料：国勢調査

図 4-3 人口ピラミッド

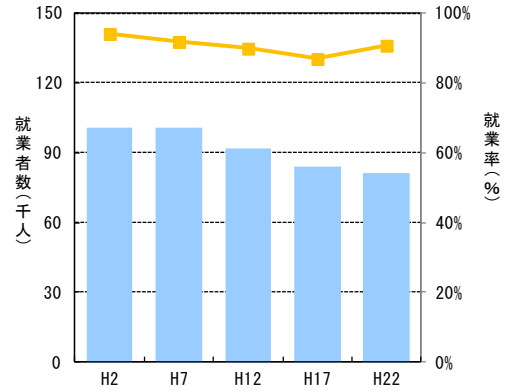
③ 就業人口の推移

すべての沿線市区において、大阪市同様、平成2年以降減少傾向にある。

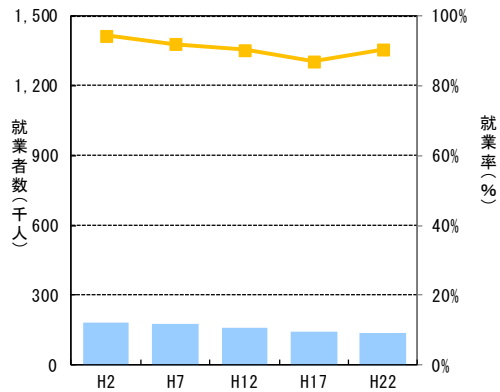
<生野区>



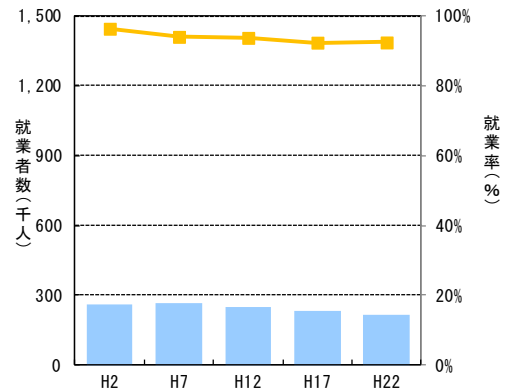
<平野区>



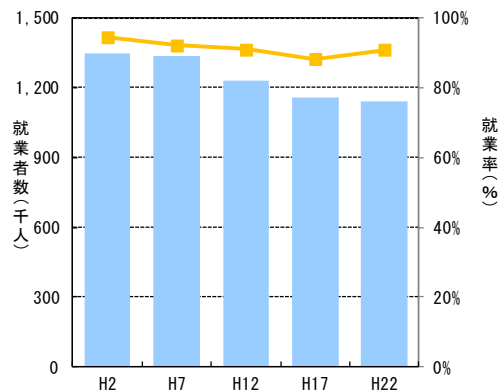
《2区計》



《東大阪市》



《大阪市》



■ 就業者数 ■ 就業率

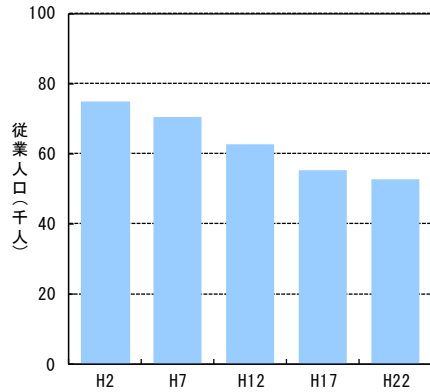
資料：国勢調査

図 4-4 就業人口の推移

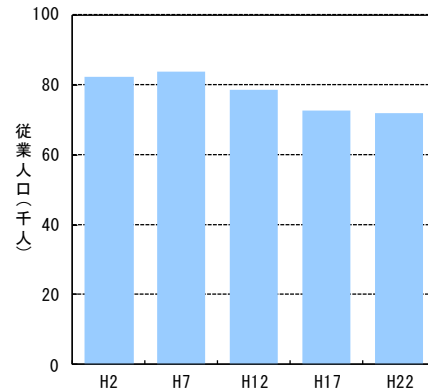
④ 従業人口の推移

生野区では、平成2年以降減少傾向にある。平野区、東大阪市では、大阪市同様、平成7年以降減少傾向にある。

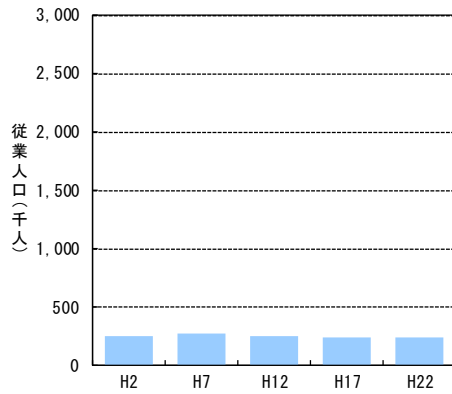
<生野区>



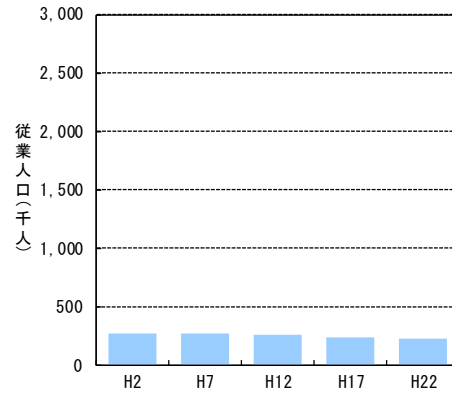
<平野区>



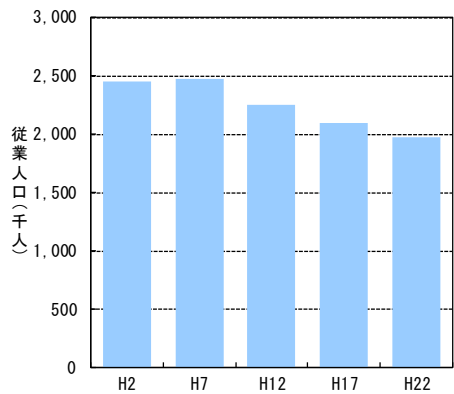
<<2区計>>



<<東大阪市>>



<<大阪市>>



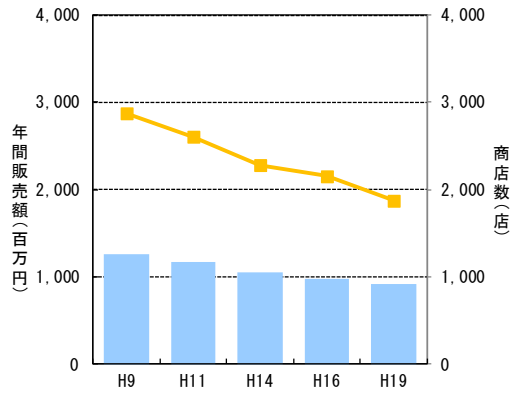
資料：国勢調査

図 4-5 従業人口の推移

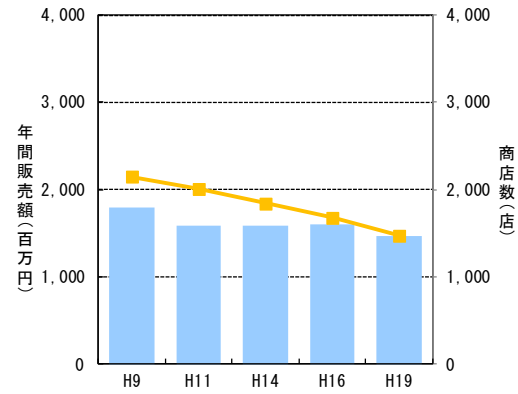
⑤ 小売業販売額

年間販売額は、大阪市同様、すべての沿線市区において減少傾向にある。

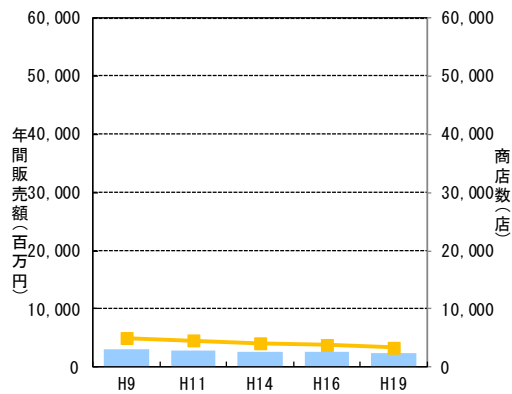
<生野区>



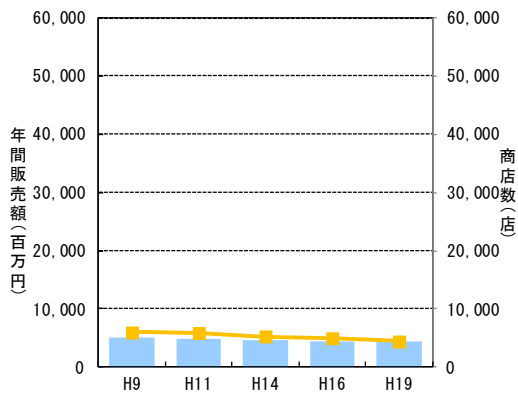
<平野区>



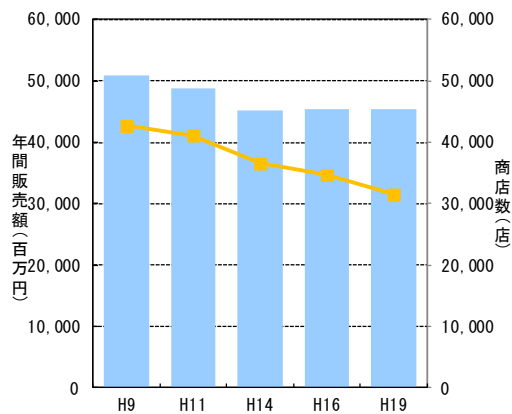
《2区計》



《東大阪市》



《大阪市》



■ 年間販売額 ■ 商店数

資料：商業統計調査

図 4-6 小売業販売額の推移

(3) 沿線の概況

① 都市計画 (用途地域・都市施設)

沿線の大阪市内側は、北側に工業系の地域、南側に第1種住居地域となっており、東大阪市内は、ほぼ住居系の地域である。

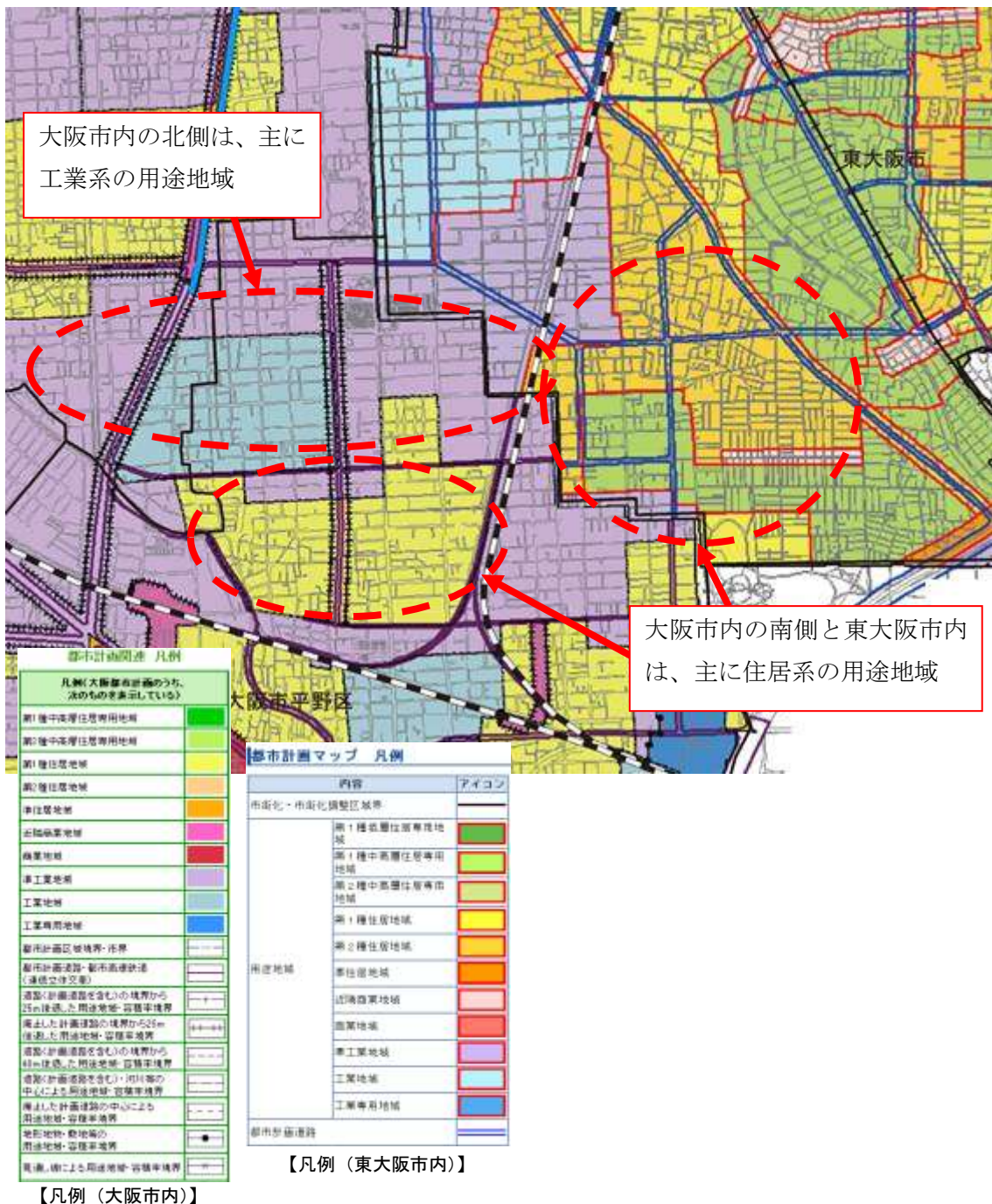


図 4-7 都市計画図(用途地域:第5号線延伸部)

沿線の都市施設は、大阪市内で大きなものは、加美霊園と一体となった加美長沢公園のみであり、地域の都市計画道路も未整備となっている。

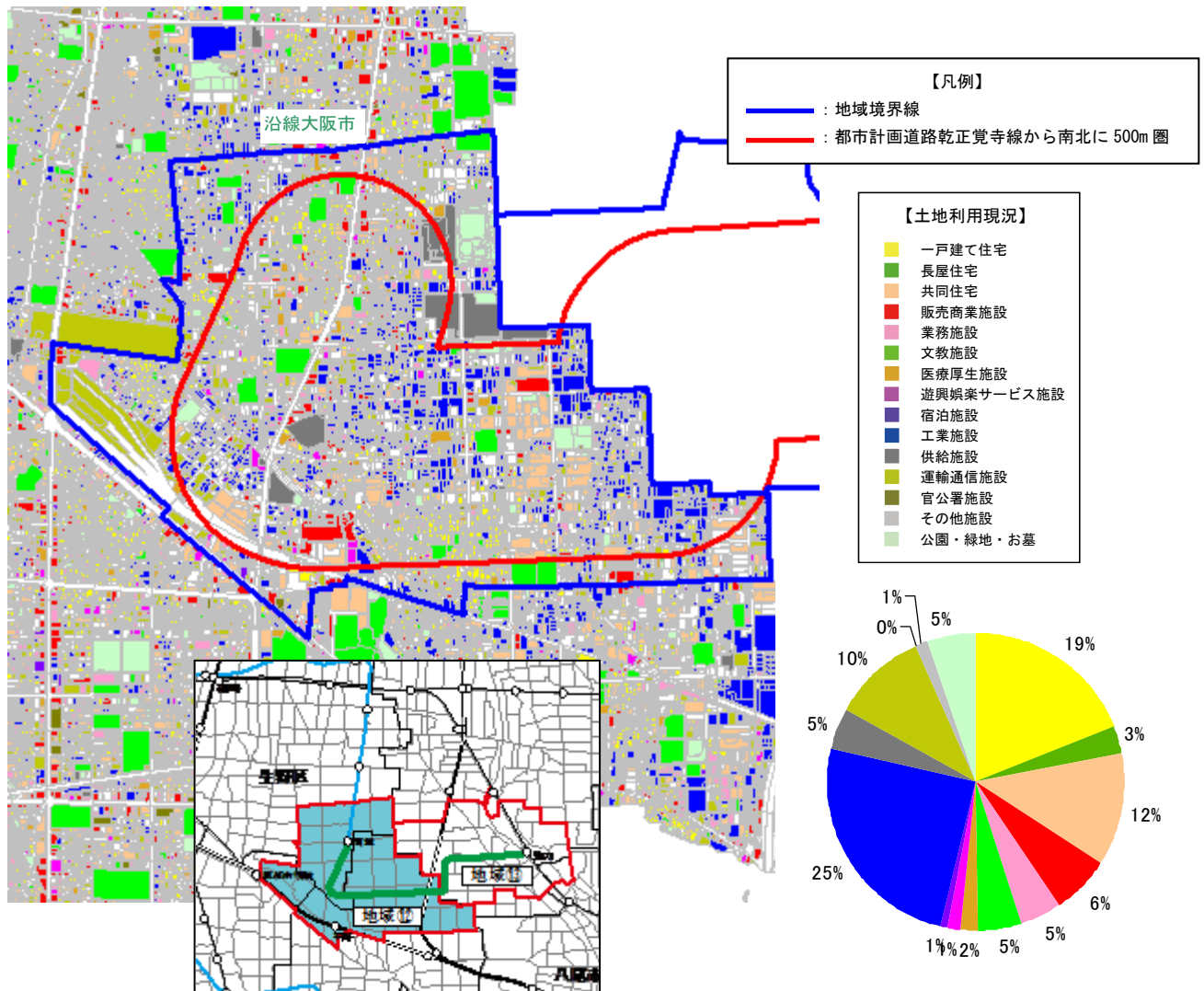


図 4-8 都市計画図(都市施設:第5号線延伸部)

② 土地利用現況

●地域⑫（沿線大阪市内）

沿線の大阪市内では、工業施設の土地利用の割合が高いが、約 46 千人の常住人口があり、従業人口も約 29 千人が従業している。



資料：平成 19 年土地利用現況調査(大阪市内のみを対象とした調査)
(都市計画道路乾正覚寺線から南北に500m以内に町丁の一部が範囲となる地域を対象とした)

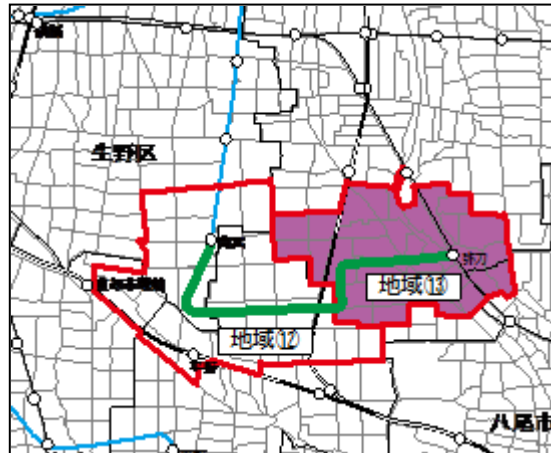
図 4-9 地域⑫の土地利用状況

表 4-3 地域⑫の主要指標

人口	45,667 人 (H22 国勢調査)
高齢化率	22.7% (H22 国勢調査)
人口密度	10.61 千人/k m ² (H22 国勢調査)
従業人口	29,093 人 (H21 経済センサス)

●地域⑬（沿線東大阪市内）

沿線の東大阪市内では、約 37 千人の常住人口があるが、大阪市内と比べて特に高齢化した地域である。



注) 東大阪市内では土地利用現況調査は行われていない

図 4-10 地域⑬の位置

表 4-4 地域⑬の主要指標

人口	36,505 人 (H22 国勢調査)
高齢化率	27.7% (H22 国勢調査)
人口密度	11.42 千人/k m ² (H22 国勢調査)
従業人口	14,273 人 (H21 経済センサス)

(集計範囲は都市計画道路から 500m 以内に町丁の一部が範囲となる地域を対象とした)

③ 主要施設等（未利用地等）の立地状況



図 4-11 沿線の主要施設等